

# 令和4年度（一財）日本建設情報総合センター 研究助成決定

令和4年度の研究助成については、8月3日に学識経験者を含めた審査委員会において厳正な審査を行い、応募があった19件のうち7件に対して研究助成を実施することを決定しました。

今年度も7つの対象課題を設定し、助成の対象となる研究を募集しました。特に応募が多かったのは、「ICT等に関する技術（AI、5G/IoT、XR(VR、AR、MR、SR)、センシング技術、画像処理技術等）の建設分野における活用に関する調査研究」と「建設分野の各プロセス（測量、調査、設計、施工、維持管理、防災対応等）及び建設現場での危機管理時の業務継続におけるICT活用に関する研究」でした。

応募者の所属については、大学等の教育機関が大部分を占めており、民間企業からの応募は、19件中4件でした。また、若手の研究者による今後の研究の発展・充実を期待して、平成29年度から若手研究者枠（35歳以下）を設けており、今年度も2件を採択しております。

採択された研究については、JACICが主催する成果報告会だけでなく、国内外を問わず広く学会等において成果を発信し、あわせて学術論文として投稿することで、建設情報システムの発展に大いに寄与することを期待します。

## 【審査委員会の委員】

大橋 正和（中央大学名誉教授）

島崎 敏一（日本大学名誉教授）

月尾 嘉男（東京大学名誉教授）

深澤 淳志（理事長）

伊藤 英隆（理事）

野田 勝（理事）

期間	研究助成対象者	研究テーマ
2年	大阪大学大学院 工学研究科 准教授 貝戸清之	3次元点群データの活用による斜面・法面管理の 効率化・高度化
1年	香川大学 地域強靱化研究センター 特命准教授 磯打千雅子	防災 DX に向けた災害教訓のマルチレイヤー化 に関する研究
1年	東京電機大学 総合研究所 教授 小林亘	冠水センサと機械学習を用いた道路冠水予測シ ステムの開発
1年	香川高等専門学校 建設環境工学科 准教授 林和彦	3次元モデルとメタバースを活用したインフラ メンテナンス技術に関する教育手法の構築
1年	東京理科大学 土木工学科 教授 寺部慎太郎	若年層の市民参加促進のためのインターネット を活用した意見提出喚起手法
1年 若手	名古屋工業大学大学院 工学研究科 助教 日高菜緒	点群データを活用した鋼製橋脚の FEM モデル 自動構築および解析結果の検証
1年 若手	東北大学 流体科学研究所 特任研究員 紀佳淵	下水処理施設における機械学習の利活用に関す る予測手法の開発